

資料3 第6次総合計画策定に向けた東郷町の地域課題

(1) 東郷町の特性分析【参考資料1：令和元年度第6次東郷町総合計画策定のための本町の特性分析より】

項目		東郷町の特性分析	
		強み	弱み
1 人口	将来人口	・人口は順調に伸び続けてきている ・近い将来、人口減少を迎えるが、減少幅は比較的ゆるやかなの見込み	・ 今後、少子高齢化が進む ・ 2045年には老年人口が約3割に達する
	世帯		・ 核家族世帯割合が高い、核家族化が進行（隣近所での助け合い、地域コミュニティの希薄化）
	人口動態	・自然動態、社会動態ともに増加傾向 ・ 近隣市間での移動が多い	・ 若い世代の転入が多い一方で、若い世代の転出も多い
	合計特殊出生率		・本町独自推計に基づく結果では1.50であり、 本町の若い世代の希望出生率1.81に達していない
	昼夜間人口比率		・ 昼間人口が少ないベッドタウンの特徴（日中のまちの賑わいに欠ける）
	居住期間	・居住年数が長い人の割合が多い（居住年数が長い人ほど定住意向が高くなる傾向）	
	その他	・外国人人口の伸びが大きい（多文化共生）	
2 産業	農林業	・農産品産出額は増加傾向	・農業経営体数は減少傾向
	製造業	・製造品出荷額は増加	・事業所数は微減傾向
	小売業	・商品販売額は増加傾向	・事業所数は長期的には減少
	買物動向		・町内で買物する割合が約2割と少ない
3 雇用	観光		・集客観光レクリエーションが少ない
	労働力		・労働力率、昼間人口比率が低め
	男女協働	・若い世代の労働力率が高い	・女性、45歳以上の労働力率が低い
	就業状況	・第2次、第3次産業就業者数が増加	・第1次産業就業者数が減少
	就業地		・ 他市区町村への就業者割合が約7割 （自市区町村での就業割合が低い）
4 財政	通学地		・ 他市区町村への通学者割合が約8割 （自市区町村での通学割合が低い）
	財政健全化	・公債費負担比率25%を下回る ・ライパイレス指数1.0を下回る	・財政力指数は1.0を下回っている ・経常収支比率は92.6%と高め
	住居	・空き家率は愛知県全体の傾向を下回る	・空き率は近年増加傾向
	住環境		・ 飲食、商業施設数が少ない
5 住環境	地価	・住宅地平均地価額は県平均よりも低い が、伸び率は県平均を上回る	
	自然環境		・一人当たり公園面積が少ない
	医療・福祉	・病床数が多い ・保育所等数、保育所等定員数が多い	・医師数が少ない
6 子育て福祉	教育		・幼稚園数、小学校数が県全体を下回る
	防犯・事故等	・事件・事故等が少なく治安が良い	
7 安全安心	消防	・消防団員数は愛知県全体を上回る	
	防災	・現状では帰宅困難者数は少ない	・セントラル開発に伴い、 今後帰宅困難者数が増える可能性がある ・第一次緊急輸送道路である国道153号沿線に災害時の拠点等となる施設や場所がない
8 環境保全	大気		・CO ₂ 排出量は10年前とほぼ変わらない
	ごみ		・ごみのリサイクル率は低い
9 交通	自動車		・世帯当たりの自動車保有台数は多い
	鉄道		・ 鉄道駅がなく、広域的な公共交通の拠点を他都市に依存
10 地域	コミュニティ	・近年、自治会加入率は微増傾向 ・近隣市と比べ自治会加入率が高い	

(2) 町民ニーズ【資料2：第6次東郷町総合計画策定のための各種アンケート結果（総括）より】

	将来の東郷町に必要な取組	
中学生 アンケート	①遊べる場所を増やす ②バスなどの交通を便利にする ③買い物が便利なまちにする ④安全で安心して通行できる道を整備する ⑤ごみが少なく、環境にやさしいまちにする	【 娯楽施設 】 【 公共交通 】 【 商業 】 【 道路整備 】 【 自然・環境 】
高校生 アンケート	①バスなどの交通を便利にする ②遊べる場所を増やす ③安全で安心して通行できる道を整備する ④買い物が便利なまちにする ⑤働く場所を増やす	【 公共交通 】 【 娯楽施設 】 【 道路整備 】 【 商業 】 【 しごと 】
事業者 アンケート	①公共交通の利便性の向上 ②人材確保の支援 ③渋滞解消など円滑な道路環境の整備 ④税制等の優遇措置 ⑤事業用地確保の支援 ⑥浸水時や災害時の安全性の確保	【 公共交通 】 【 企業支援 】 【 道路整備 】 【 企業支援 】 【 企業支援 】 【 防災 】
区・自治会 アンケート	特に不満に思う施策	今後特に重要だと思う施策
	①道路整備 ②公園・緑地整備 ②公共交通	①防災 ②企業誘致 ③子育て環境 ③公共交通
町民活動団体 ヒアリング	○町民活動団体の展示・発表の場の充実 ○町民ニーズの把握 ○ららぽーとへのイベントスペースの確保	
東郷町成人式 実行委員会 インタビュー	東郷町に住み続けるために必要な取組	東郷町での就業意向に対する主な意見
	○鉄道駅までの利便性向上 ○じゅんかい君の増便 ○バスと電車の接続性の向上 ○道路交通環境（歩道、街灯）の改善 ○飲食店の充実 ○ららぽーとを契機としたにぎわい創出	○働くところが少ないイメージがある ○希望する職種がないイメージがある ○個人の事業所や工場のみで、オフィスのイメージがない ○住むところのイメージはあるが、働くところのイメージはない ○名古屋市、豊田市などが近いため、そちらで働くのが現実的
文化産業まつり 来場者 アンケート	東郷町の1番良くないところ（改善したいところ）	
（参考） まちづくり カフェ（第1回）	①交通が不便 ②道路 ③駅がない	【 公共交通 】 【 道路整備 】 【 公共交通 】
	○相談できる場がほしい ○近所の人と助け合いたい ○異年齢交流、多世代交流の推進 ○子どもが遊べる緑・公園 ○防災対策、避難・防災広場 ○日中のにぎわいづくり ○ららぽーと開業にあわせて、町の魅力をPR ○公共交通の充実 ○医療機関の充実	【 交流 】 【 自然・環境 】 【 防災 】 【 にぎわい 】 【 にぎわい 】 【 公共交通 】 【 福祉 】

（３）第５次総合計画の評価

第５次東郷町総合計画の施策進捗状況調査【資料１：第５次東郷町総合計画の施策進捗状況より】			
○目標指標の達成状況及び施策の進捗状況、住民満足度を総合評価すると、「緑化」「自然」「景観」「環境」「道路整備」に関連する施策の評価が悪く、改善が求められる。			
		評価点が高いもの(上位5項目)	評価点が高いもの(上位5項目)
		評価点が高いもの(上位5項目)	評価点が高いもの(上位5項目)
基本目標	基本施策	①目標指標の達成状況 ②施策の進捗状況 ③住民満足度の総合評価 (12点満点)	順位 (全34位)
Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち	1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する	10.0	2
	2 安心して医療を受けられる体制をつくる	7.4	22
	3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる	9.0	8
	4 社会保障制度を適切に運用する	7.7	19
	5 福祉サービスを充実するとともに地域との連携を図る	8.4	15
	6 安心して子育てができる環境をつくる	9.4	5
Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち	1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る	9.0	7
	2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する	9.0	8
	3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む	9.3	6
	4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える	10.2	1
	5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する	8.2	17
	6 多文化の人々が共生できる社会をつくる	6.7	29
	7 青少年の健全な育成を進める	8.0	18
Ⅲ 参画と協働で自立するまち	1 まちづくりに参加できる仕組みをつくり、協働のまちづくりを進める	7.2	25
	2 男女それぞれの個性や能力を生かせる社会をつくる	8.2	16
	3 町民・行政相互の情報共有を推進する	7.7	19
	4 効率的な行政運営を進める	8.8	10
	5 広域連携の強化を進める	7.6	21
	6 財政の健全化を進める	7.1	26
Ⅳ 安全で環境にやさしいうらおいのあるまち	1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する	8.7	12
	2 犯罪や交通事故の少ない安全なまちをつくる	9.6	3
	3 災害に強いまちをつくる	8.6	13
	4 安心して消費生活が送れる体制を整える	8.5	14
	5 人と自然が共生し、うらおいのあるまちをつくる	6.4	33
	6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める	6.6	30
	7 資源を大切に、環境負荷の少ないまちをつくる	8.8	10
Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち	1 地産地消により農業の活性化を目指す	7.3	23
	2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める	7.0	27
	3 魅力ある市街地を整備する	7.2	24
	4 緑豊かなうらおいのあるまちをつくる	6.4	34
	5 美しい街並み景観のあるまちをつくる	6.4	32
	6 安心して通行できる道路網を整備する	6.6	31
	7 公共交通の利便性を高める	7.0	27
	8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める	9.5	4

（４）社会情勢の変化と東郷町への影響

【第１回東郷町総合計画審議会・資料６：第６次東郷町総合計画策定に向けた基礎調査報告書より】			
○将来的には人口減少・少子高齢化が予測、出生率の向上等の取組が必要	【人口減少・少子高齢化】		
○本町の南海トラフ巨大地震の震度予測は震度 6 弱～6 強、総合的な対策が必要	【防災・減災】		
○激甚化する気象災害への備えが必要	【防災・減災】		
○高齢ドライバーの割合は増加傾向にあり、未然に事故を防ぐ取組等が必要	【高齢化・交通安全】		
○多様な保育需要に対応できる環境整備や女性が働きやすい環境整備が必要	【子育て支援】		
○本町の近年の CO ₂ 排出量は横這い、CO ₂ の減少に向けた取組が必要	【自然・環境】		
○訪日外国人増加や外国人労働者の増加への対応が必要	【多文化共生】		
○高齢者の健康寿命の増進等が必要	【高齢化】		
○リニア中央新幹線開業に伴う交流人口増大を見据えた取組が必要	【交流】		
○スマートフォンの普及に伴い、町民ニーズに合った情報提供方法の確立が必要	【情報】		
○Society5.0 の実現に向けた基盤整備が必要	【ICT・IoT】		
○地方創生 SDGsに向けた「自律的好循環」の形成が必要	【SDGs】		

（５）前項までを踏まえた第６次総合計画策定に向けた東郷町の地域課題

東郷町の地域課題	
地域課題①：高齢化の進展に適応するまちづくり	
・高齢者が安心・安全に移動できるよう公共交通の充実【公共交通】	
・高齢者福祉施策の充実（介護人材の確保等）【福祉】	
・高齢者の就労・社会参加の機会の充実【福祉】 等	
地域課題②：若い世代が定着し、地域交流が盛んなまちづくり	
・若者の出入りが多い地域特性や近隣市間での移動が多い地域特性を踏まえて、若い世代のニーズにこたえる取組（商業・娯楽施設の充実等）や教育・子育て支援の充実等、他の自治体との差別化を図る取組により、若い世代の流入の促進【商業・娯楽施設】【子育て支援】	
・出生率の向上を目指し、子育てしやすい環境づくり等、子育て世代に選ばれるまちづくりの推進【子育て支援】	
・核家族化の進行や地域交流に対する住民ニーズの高さを踏まえ、地域コミュニティの再生、地域交流の充実等の取組の推進【交流】 等	
地域課題③：地域産業が活性化し、働く場が確保されたまちづくり	
・主要産業である製造業をはじめ、農業や商業の振興を図る取組の推進【産業全般】	
・現状では飲食、商業施設が少なく、町外で買い物をする人が多いため、現在整備中の「ららぽーと」を生かした商業拠点の確立【商業】	
・他市区町村への通勤者割合が高い地域特性や、若い世代が就職を機に町外へ転出する意向が高いことを踏まえて、町内における働く場の拡充【しごと】	
・「ららぽーと」の開設や働く場の拡充等による日中のにぎわい創出【にぎわい】 等	
地域課題④：防災・減災のまちづくり 【防災】	
・核家族化の進行や昼間人口が少ない地域特性を踏まえ、地域の防災力強化の推進	
・外国人人口の伸びを踏まえ、外国人住民に対する防災対策強化の推進	
・帰宅困難者対策、災害拠点の確保 等	
地域課題⑤：交通の利便性の高いまちづくり 【公共交通】	
・セントラル開発に伴う新たな交通拠点の形成	
・バス・タクシー運行時における AI や自動運転技術、様々な移動を１つの移動サービスとして捉える MaaS 等の新たなモビリティサービスの活用	
・鉄道駅へのアクセスの利便性の向上	
・自転車利用の利便性の向上 等	
地域課題⑥：町民が誇りを感じている「自然環境」を守るまちづくり 【自然・環境】	
・自然環境の保全、緑化の推進、子どもが遊べる広場・公園の整備	
・地球環境にやさしいまちづくり、コンパクトなまちづくりの推進	
・美しい街並み景観の形成 等	